

Wataame

【わたあめ】

No.14 2023.6. 発行



国立病院機構宇都宮病院

皮膚・排泄ケア認定看護師

通信

ご自由におもちください

2023年6月

Let's get refreshed!



写真:国立病院機構宇都宮病院

夏の朝 メントールの風 しのばせて

【宇都宮病院に集う各地の人々】

【コトリと編集後記】

仲良くしてね！青森県民 SHOW

小さな編集部の小さな卒業式

夏の朝 メントールの風 しのばせて



写真:国立病院機構宇都宮病院

去年は、病院の看護の日のイベントで、「わたあめ」人気投票をしていました。今年の看護の日イベントは、「看護の日川柳大会」を企画しました。皆さんから投稿していただいた川柳の中から、特に人気だったものを後ほど発表します。お楽しみに！

さて、看護の日川柳大会には、私も2・3句紛れ込ませています。その中のひとつ、日頃の悩みである肩の痛みについて詠ませていただきました。肩の悩みに関しては、痛みだけに留まりません。湿布が接触していた部位に、境界がはっきりした赤みと小さなブツブツができてしまいます。そのような皮膚のかぶれには、接触した物質が刺激になって発生

する刺激性接触皮膚炎や、アレルギーによるアレルギー性接触皮膚炎などがあります。そのような症状が出やすい人は、化粧品や染毛剤、下着や靴下のゴムでも出る可能性があります。私は夏に腕時計やアークセサリーを装着した時にも同じ症状が見られました。改善のためには、何が原因だったのか特定し、それを除去することが大切です。症状がひどい時は皮膚科に受診して相談してみましよう。



【宇都宮病院に集う各地の人々】

仲良くしてね！青森県民 SHOW

青森県民と仲良くなりたい方必見です！

青森県は、津軽(西部)と南部(東部)に分けられているよう。津軽の男女は、芯が強く我慢強い。女性は世話好きが多いようです。南部の男女は、控えめで照れ屋が多いそう。

青森の男性は、根が真面目なので浮気や不倫はNG。見た目より内面で判断する傾向。女性は男性に尽くします。

青森県民は、温泉やお酒の話が好きです。気をつけることは、津軽と南部はまるで別の県、という噂。青森のどこかを確認し、津軽ならりんご、弘前ならねぶたや桜の話を。間違えるとあまりいい顔をしません。それはなぜか？戦国時代から戊辰戦争の青森の歴史を調べてみると、理由がわかるかもしれませんよ？

【 コトリと編集後記 】

小さな編集部の小さな卒業式



今年の3月に、初代編集長である看護部長さんが退官されました。いつも物事の先を見据え、俊敏で、とても頼りがいのある部長さんでした。將軍のようなオーラを醸し出しながら、少女のような茶目っ気も。

お花に例えると、葉や茎までまっすぐにピンと伸びた赤いチューリップに似ているかもしれません。

皮膚・排泄ケア認定看護師 土田 桂子
バックナンバーはこちらから

国立病院機構宇都宮病院 HP URL<https://utsunomiya.hosp.go.jp>